

香川ごみ通信(16) 環境部会長 宮田

ゴミ環境について考える

分別したりサイクル品が一番お金になるのは、アルミ缶、ペットボトルと紙であろう。
回収したアルミ缶は700℃で溶け、簡単に元の缶にすることができ、これが対して鉄屑はこの2倍の温度にしないと溶けない。

余談だが、ホームレスには花見シーズンの上野公園は年に一度の稼ぎ時だそう、アルミ缶の争奪戦が繰り広げられるという。
ペットボトルも溶かして繊維に再生される。また、プラスチックを蒸し焼きにして、水素分を取り出し、アンモニア合成の資源として活用するプラントも存在する。

紙については、リサイクル率が7、8割の優等生であるが、問題なのは茅ヶ崎では燃やせるごみの中の紙の1/3が紙としてまだ資源化

が可能なという。
リサイクルは日本人のもったいない精神(もったいないは世界語になった)が存分に発揮され、回収技術も公害除去技術も世界に冠たるものである。
広く世界を見ると、日本の一般

かなり以前は日本でも東京湾に夢の島が埋め立て地として存在したが今は東京各区で焼却炉が完備し、炉の運転技術も向上、猛毒のダイオキシンが発生しない温度管理で運転されている。
◆隣の藤沢市は分別を個人責任において行う個別収集になった。いづれ茅ヶ崎市もそうなる。ごみ置き場の設置場所、管理体制、市の収集方法など、今から考えておくことはいっぱいある。

藤沢市のごみ分別収集

可燃ごみ	戸別収集	資源	紙おむつ 落ち葉等 落定枝等 蛍光管等
不燃ごみ	資源	資源	新聞、紙パック 古布類等は集積場へ
大型ごみ	資源	資源	

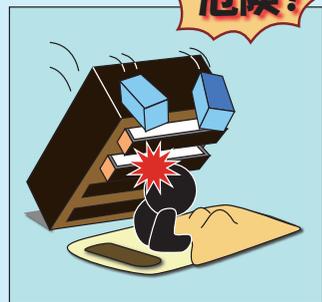
防災だより No.35

「自助」のための対策

前回、自助の大切さをお伝えしましたが、防災リーダー研修会で、一番は自身、家族が怪我などしないことで、そのためのお金も掛からず、すぐ出来る対策を聞きまして、参考にしてください。

まず長時間過ごすところの対策を優先する。長時間という寝室です。二階建てなら寝室を二階にするだけで対策になります。一階がつぶれ易いからです。次に寝室の家具です。固定できれば良いですが、固定できなくても、寝ている人のほつに倒れないように配置換えするだけで対策になります。

危険!



地震災害で亡くなった被害者の9割は寝室で被害にあっています。

また、高い家具の上のものを下す、家具の手前と床(畳)の間に新聞紙か厚紙を挟み少し後ろに傾ける、なども小さなことですが、立派な対策です。ご検討ください。
(防災部会・加藤)

青少年育成推進協議会主催 地域DEボランティア

平成30年1月27日冬晴れのもと小・中学生たちは、各自自治会の人から防災倉庫の説明や機材の操作、神社にまつわる伝承を聞いたり、公園や道路の清掃活動等を行いました。地域の人との交流を通じて、地域の一員であることやボランティア精神を学びました。

今年はいんぷるエンジンが大流行し、香川小学校でも学級閉鎖のクラスが多数あり、昨年よりは参加人数が減り183名となりました。参加者は香川小学校に集合してそれぞれの感想を述べた後、鶴が台中学校家庭部と推進協の皆さん手作りの美味しい豚汁を頂き、解



散となりました。
(香川小学校区 推進協 田中)

会員募集中!

学習支援グループ・ちがさき開智舎のびじろくらぶ 宿題を一緒にやりますよ!!

一人でも多くの「のびろくらぶ」を育てたい、増やしたいの思いで一杯です。(代表 井上忠義) 井上様は、ちがさき市民活動げんき基金助成事業に、空き家となつたご両親の一軒家を活用する、地域の子どもたちへの学習支援ボランティア「ちがさき開智舎」を応募。採択後、平成29年6月18日に開所されました。

◆会員募集中
対象は小学生(1〜6年生)で、現在10名弱が在籍し、毎週火曜日3時半〜5時まで学習を支援しています。会費、入会金は無料で会費を募集しています。

絵かきや折り紙など、5時まで過ごして行く子もいるそうです。井上さんの、目下の夢は「子どもたちにクラシックを聴かせてあげること」だそうです。
場所 香川1・31・18 井上宅
(香小・香川公民館より3分) 連絡先

放課後、家庭ではなかなか勉強しない子ども、一人で分からないところにつまずいている子どもなどを支援することで、個人が持っている能力「のびしろ」を開かせたい、という強い思いから事業を立ち上げられたということです。勉強だけでなく、仲間やスタッフとの交流を通して挨拶や礼儀などを身につけることも目標にされています。

◆ボランティア・賛同者募集中
現在14名が在籍し、毎回7名が学習支援できるように調整。現役の学生さんや教職員OBなども居られるそうです。きめ細かな支援のために、ボランティアを募集中のことです。
又、のびしろショップ「材料費を渡してボランティアさんに作ってもらった作品(工口たわし等)の販売」を月に1回開催する計画があるそうです、現在そちらのボランティアさんも募集中。
宿題が終わるとすぐに帰る子どももいれば、子ども同士や大人とのお



約束 1. えがおで あいさつ
2. たのしい べんきょう
3. みんな なかよく

お知らせ

地引網大会を予定

おいしい生しらすの大漁を期待して、地引網大会を5月6日に開催の予定です。

◆日時 平成30年5月6日(日) 場所 茅ヶ崎サザンビーチ カネサ網

詳細については、後日回覧等で確認下さい。
(体育部会長 高橋白々代)

2月3日諏訪神社境内 豆まきをしました!

昨年同様、自治会の主導で諏訪神社の協力のもと、実行委員会により豆まきが進められました。当日は午前中から舞台の設営や豆の袋詰めなど、実行委員会により準備が進められました。

